



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 サン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6736 URL <http://www.sun-denshi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 正則
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼執行役員経理部長 (氏名)山本 泰 (TEL) (0587) 55-2201
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,847	△18.0	213	△91.6	26	△98.9	118	△93.9
27年3月期第3四半期	20,536	12.9	2,529	29.0	2,458	17.7	1,947	52.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △9百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 2,516百万円 (41.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	5 31	5 17
27年3月期第3四半期	88 35	84 76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	26,288	16,085	57.4
27年3月期	27,294	16,576	57.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 15,091百万円 27年3月期 15,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0 00	—	15 00	15 00
28年3月期	—	0 00	—		
28年3月期(予想)				15 00	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	24,000	△12.2	600	△73.7	400	△80.5	400	△73.3	17 90	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	22,424,000株	27年3月期	22,353,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	946株	27年3月期	946株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	22,384,835株	27年3月期3Q	22,039,369株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府主導の経済政策等の効果により、緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済につきましては、米国経済を中心に堅調に推移したものの、米国の利上げに伴う景気後退懸念や、中国経済の減速、新興国経済の低迷等、先行き不透明な状況となっております。

遊技台部品事業及びホールシステム事業が携わるパチンコ業界につきましては、遊技機の自主規制や低貸玉営業の普及などの影響により、パチンコホールの経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。そのため、遊技機の入替えや店舗の設備投資につきましては慎重な姿勢のパチンコホールも多く、全体の遊技機、ホール設備の販売も伸び悩んでおります。

モバイルデータソリューション事業のうち、携帯電話機器販売店向け（モバイルライフサイクル）につきましては、主要なサービスの一つである古い携帯電話機器から新しい携帯電話機器にデータを移行する機能に関しては、クラウド型のデータ移行サービスが台頭するなど先進国を中心に様々なサービスが出現しております。一方、携帯電話機器の故障の持ち込みや中古携帯電話の下取りなど携帯電話販売店に求められるサービスは複雑化しており、顧客満足度の低下や店舗運営のコスト増加をもたらしております。このような状況下において販売店の店頭業務を効率化し、顧客満足度を高めるソリューションについては今後の成長が見込める市場環境にあります。犯罪捜査機関等向け（モバイルフォレンジック）につきましては、昨今の世界情勢の不安定化に伴い、各国行政機関の安全保障に対する意識の高まりと共に、関連予算は増加傾向にあり、引き続き市場の成長が見込める環境にあります。

このような状況のなか当社グループにおきましては、社員主導型経営のもと、世界への更なる飛躍へ向け、グローバルな視点での事業展開を図るべく、新製品・新サービスの企画・研究・開発に努めました。

新製品・新サービスの企画・研究・開発の一環として、持分法適用会社でもあるInfinity Augmented Reality, Inc.のAR（拡張現実）開発プラットフォームを活用し、ARコンテンツやARソリューションの提供に向けて事業ドメインの拡大を図っておりますが、10月には優れたLOE（Light-guide Optical Element：導光光学素子）技術の特許を持つLumus Ltdと業務提携の基本合意書を締結し、AR分野においてハードウェアからソフトウェアまで包括するトータルソリューションの提供を目指してまいります。

以上の取組みに加え、遊技台部品事業及びホールシステム事業におきましては、厳しい市場環境のなかで、両事業ともほぼ計画通り順調に推移しております。モバイルデータソリューション事業におきましては、上記の通り市場は拡大傾向であり、世界的な需要拡大に対応するため新拠点設立や社内体制構築を意欲的に行ったものの、計画からの遅延、販売戦略の見直し等の影響から、モバイルライフサイクル及びモバイルフォレンジックともに計画を下回りました。また、その他事業におきましては、将来に向けた先行投資を積極的に行いました。この結果、売上高168億47百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益2億13百万円（前年同期比91.6%減）、経常利益26百万円（前年同期比98.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円（前年同期比93.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<遊技台部品事業>

主要な製品は、パチンコ台メーカーに販売する制御基板及び樹脂成形品であります。

新機種に係る遊技台部品の販売が、計画通り順調に推移しました。この結果、売上高は51億75百万円（前年同期比32.0%減）、セグメント利益は7億78百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

<ホールシステム事業>

主要な製品は、パチンコホール経営を支援する遊技台管理・会員管理・景品管理等のコンピュータシステムであります。

市場は、引き続き悪化する傾向を示しておりますが、受注案件の獲得は引き続き計画通り順調に推移しました。また、セグメント利益につきましても、人員の見直し等を含めた構造改革等を行ったほか、前期に貸倒処理した債権の一部が回収できたこと等も寄与し、セグメント利益を確保することとなりました。この結果、売上高は20億17百万円（前年同期比23.4%減）、セグメント利益は1億23百万円（前年同期は1億18百万円の損失）となりました。

<モバイルデータソリューション事業>

主要な製品・サービスは、携帯電話機器販売店向け（モバイルライフサイクル）及び犯罪捜査機関等向け（モバイルフォレンジック）に販売するモバイルデータトランスファー機器及び関連サービスであります。

モバイルライフサイクルにつきましては、主要市場の米国においては、計画通り順調に推移しましたが、他の市場での販売が低調に推移し、モバイルライフサイクル全体では、計画を下回りました。

モバイルフォレンジックにつきましては、前主力機種のサポート終了に伴う買い替え需要で好調だった前期からの反動減が続いている影響等もあり、南米市場を除く他の市場において、計画を下回りました。

主に一時的な要因により売上が低調に推移したものの、長期の持続的成長を目指し、費用の削減を最小限に留め、Cellebrite社の新拠点設立など事業規模拡大及び新製品・新サービス等の開発投資を積極的に進めたことで、研究開

発費を含む販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、売上高は86億72百万円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益は2億98百万円(前年同期比86.3%減)となりました。

<その他>

主要な製品・サービスは、M2M通信機器及びM2Mソリューション並びにコンテンツ配信サービスであります。

M2M通信機器の販売につきましては、セキュリティ向け・娯楽機器向け等、当社製品の導入事例は着実に増加しております。また第2四半期累計期間に子会社化したBacsoft社のM2Mソリューションにつきましては、世界的に急速な拡大を続けるM2M市場において、両社の事業ドメインの拡大を図っているなかで、国内では当期から本格的なサービスを開始しており、産業機器・エネルギー管理・農業などの分野で初期導入の案件が増えております。この結果、売上高は前年同期を上回りましたものの、開発投資等の影響から利益を確保するには至りませんでした。

コンテンツ配信サービスにつきましては、同サービスの販売が低調に推移し、売上高は前年同期を下回り、セグメント利益を確保するには至りませんでした。更にAR(拡張現実)事業等、情報通信分野の新規事業に係る先行開発投資を積極的に行ったことも影響しました。これらの結果、売上高は9億82百万円(前年同期比14.2%増)、セグメント損失は3億64百万円(前年同期は66百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億5百万円減少し262億88百万円となりました。これは主に、現金及び預金が32億86百万円減少した一方で、のれんが11億9百万円、その他流動資産が4億70百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億15百万円減少し102億3百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億90百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億90百万円減少し160億85百万円となりました。これは主に、資本剰余金が2億73百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は57.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年10月7日付け発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループの主要な事業のうちパチンコ関連事業は、需要変動が比較的大きな分野に属しております。遊技台部品につきましては、遊技機メーカーの他社動向及び新機種申請状況等、パチンコ遊技機の機種発売状況に左右されます。このため、計画に対して変動が生じることとなる場合には、当社グループの売上及び利益は大きく変動いたします。通期業績につきましては、上記要因を考慮の上、今後の状況を見極める必要があることから、現時点では修正を行いません。今後の市場動向・業績推移を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より、Bacsoft Ltd.の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

四半期連結財務諸表の作成にあたり、第2四半期会計期間末日である平成27年9月30日をみなし取得日としており、当第3四半期連結会計期間においては、同社のみなし取得日の貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,459,720	11,173,414
受取手形及び売掛金	3,613,477	3,898,626
電子記録債権	3,520	28,060
リース投資資産	64,991	53,303
有価証券	588,721	553,433
製品	1,057,898	946,671
仕掛品	823,441	676,188
原材料	1,058,627	1,581,108
繰延税金資産	136,239	64,503
その他	356,897	827,759
貸倒引当金	△139,873	△175,360
流動資産合計	22,023,662	19,627,708
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,295,554	1,295,554
その他(純額)	1,464,789	1,587,917
有形固定資産合計	2,760,343	2,883,471
無形固定資産		
のれん	47,079	1,156,328
その他	35,071	38,313
無形固定資産合計	82,151	1,194,641
投資その他の資産		
投資有価証券	1,833,705	1,698,019
繰延税金資産	393,332	462,849
その他	819,314	984,039
貸倒引当金	△617,780	△561,887
投資その他の資産合計	2,428,571	2,583,020
固定資産合計	5,271,066	6,661,133
資産合計	27,294,728	26,288,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,616,556	2,026,023
短期借入金	830,000	1,730,000
1年内返済予定の長期借入金	35,330	28,800
リース債務	28,890	46,130
未払法人税等	147,847	76,964
前受金	708,152	482,609
前受収益	3,565,617	3,301,881
繰延税金負債	—	9,896
賞与引当金	776,363	432,066
役員賞与引当金	34,825	59,620
製品保証引当金	89,327	78,933
その他	1,367,784	1,363,709
流動負債合計	10,200,695	9,636,636
固定負債		
長期借入金	68,800	124,264
リース債務	88,260	90,609
長期未払金	13,253	13,253
繰延税金負債	252,882	241,296
再評価に係る繰延税金負債	10,439	10,439
役員退職慰労引当金	24,949	26,816
退職給付に係る負債	56,148	57,086
資産除去債務	3,220	3,220
固定負債合計	517,953	566,986
負債合計	10,718,649	10,203,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,988	987,346
資本剰余金	946,527	673,060
利益剰余金	12,689,926	12,473,709
自己株式	△314	△314
株主資本合計	14,614,126	14,133,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,420	15,689
土地再評価差額金	△434,722	△434,722
為替換算調整勘定	1,366,013	1,376,774
その他の包括利益累計額合計	1,092,711	957,742
新株予約権	337,324	529,317
非支配株主持分	531,916	464,357
純資産合計	16,576,079	16,085,219
負債純資産合計	27,294,728	26,288,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	20,536,831	16,847,204
売上原価	10,190,310	7,461,357
売上総利益	10,346,521	9,385,846
販売費及び一般管理費	7,817,376	9,172,393
営業利益	2,529,144	213,453
営業外収益		
受取利息	62,525	38,060
受取配当金	24,656	19,365
その他	10,605	6,983
営業外収益合計	97,787	64,409
営業外費用		
支払利息	7,461	8,822
為替差損	107,029	127,104
持分法による投資損失	54,265	115,581
営業外費用合計	168,756	251,508
経常利益	2,458,175	26,353
特別利益		
固定資産売却益	—	199
投資有価証券売却益	2,626	8,517
投資有価証券償還益	—	68,060
新株予約権戻入益	—	25
受取和解金	142,285	—
段階取得に係る差益	—	127,176
特別利益合計	144,911	203,979
特別損失		
固定資産除却損	4,345	3,989
固定資産売却損	1,477	—
投資有価証券売却損	109	2,879
特別損失合計	5,932	6,868
税金等調整前四半期純利益	2,597,154	223,464
法人税、住民税及び事業税	284,116	33,282
法人税等調整額	226,011	64,267
法人税等合計	510,127	97,550
四半期純利益	2,087,027	125,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	139,884	6,973
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,947,142	118,941

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,087,027	125,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188,103	△146,666
為替換算調整勘定	241,340	15,130
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3,531
その他の包括利益合計	429,444	△135,067
四半期包括利益	2,516,471	△9,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,357,394	△16,027
非支配株主に係る四半期包括利益	159,077	6,875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	遊技台部品事業	ホールシステム事業	モバイルデータソリューション事業	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	7,614,575	2,635,336	9,426,743	860,176	20,536,831	—	20,536,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	123,370	—	—	—	123,370	△123,370	—
計	7,737,946	2,635,336	9,426,743	860,176	20,660,202	△123,370	20,536,831
セグメント利益又は損失(△)	1,194,868	△118,308	2,178,017	△66,117	3,188,459	△659,315	2,529,144

(注) 1 「その他」の区分には報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル通信機器の販売及びコンテンツ配信サービスを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△659,315千円には、セグメント間取引消去△2,085千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△657,229千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	遊技台部品事業	ホールシステム事業	モバイルデータソリューション事業	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	5,175,100	2,017,431	8,672,526	982,145	16,847,204	—	16,847,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	139,343	—	—	—	139,343	△139,343	—
計	5,314,443	2,017,431	8,672,526	982,145	16,986,547	△139,343	16,847,204
セグメント利益又は損失(△)	778,846	123,673	298,888	△364,886	836,521	△623,068	213,453

(注) 1 「その他」の区分には報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、M2M通信機器及びM2Mソリューション並びにコンテンツ配信サービスを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△623,068千円には、セグメント間取引消去△17,007千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△606,060千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他事業」において、新たにBacsoft Ltd.を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1,125,095千円であります。